

下北半島東部における海上ボーリング調査の実施について（概要）

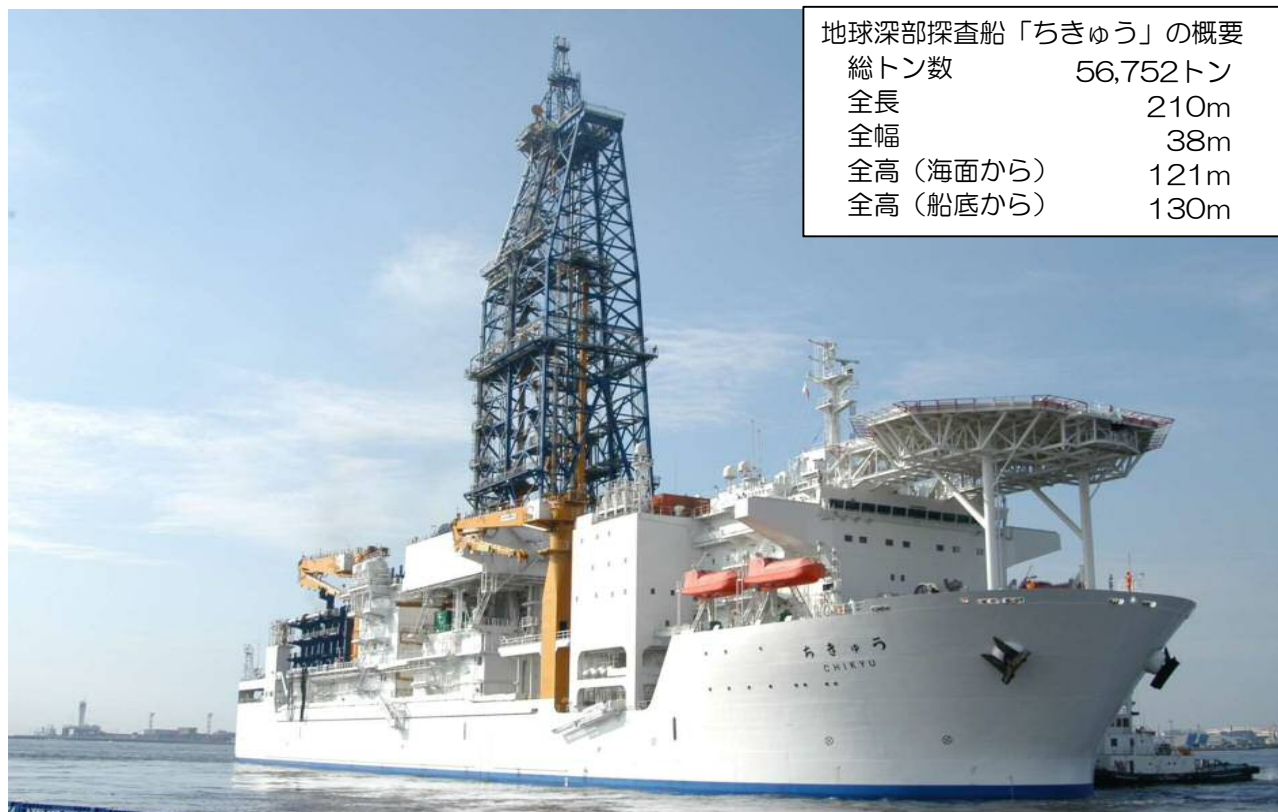
【調査目的】

日本原燃株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社およびリサイクル燃料貯蔵株式会社は、今般、深い海底を掘削可能な地球深部探査船「ちきゅう」を活用することが可能となったことから、下北半島東部の地質データのさらなる拡充を目的として、同船による海上ボーリング調査および同調査を補完する目的の海上音波探査を、本年4月から実施します。

【調査内容】

海上ボーリング調査

- 地球深部探査船「ちきゅう」により、ボーリング調査（柱状の地層試料採取）および物理検層（地層の密度などを測定）を実施します。
- ボーリング地点の水深：約100～600m
- 海底下の掘削深さ：約50～700m
- ボーリング本数：5本程度

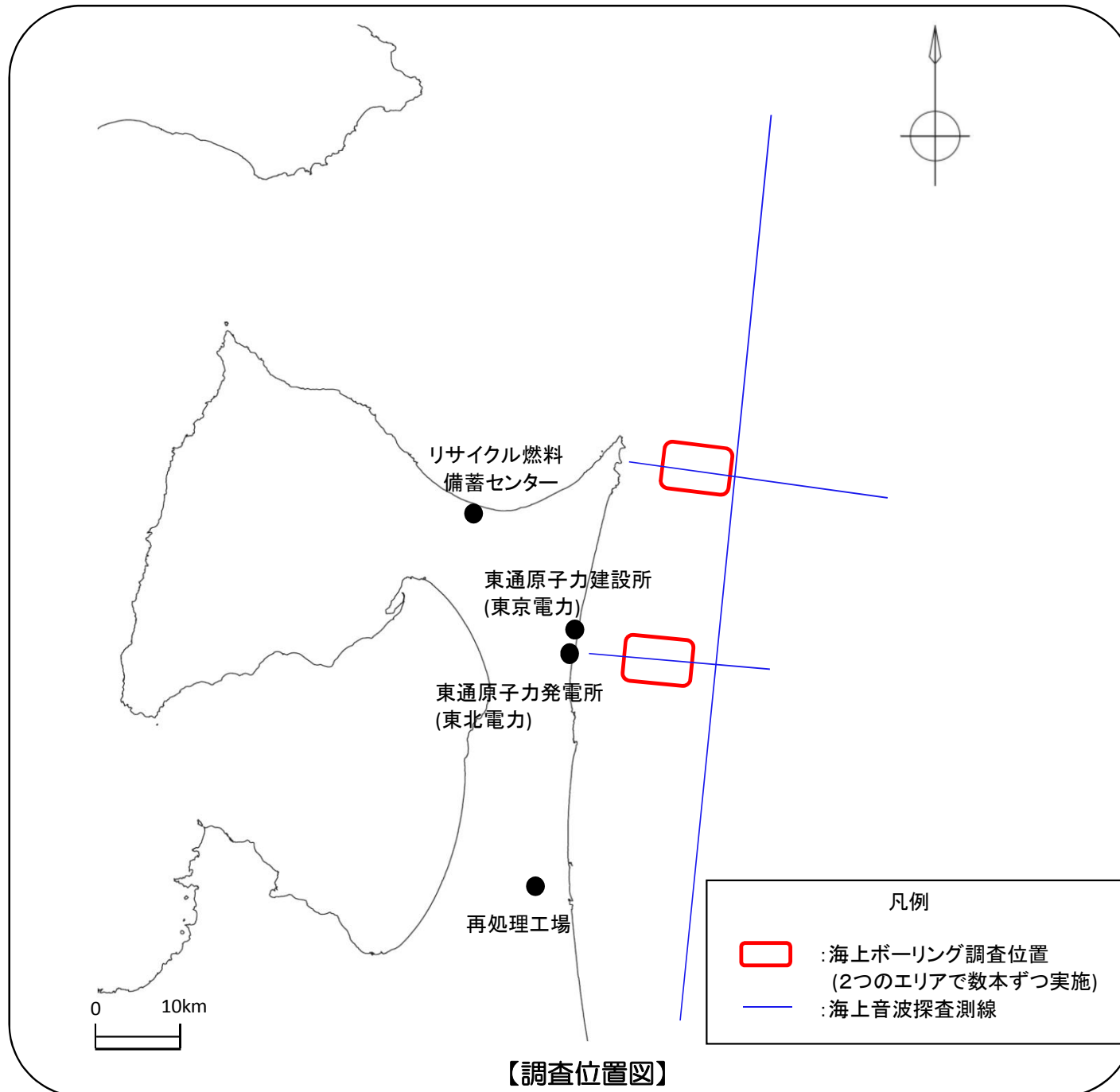


総トン数	56,752トン
全長	210m
全幅	38m
全高（海面から）	121m
全高（船底から）	130m

地球深部探査船「ちきゅう」

なお、海上ボーリング調査を補完する目的で、以下のとおり海上音波探査を実施します。

- 300トン級の調査船を用いて、長さ約350mのストリーマケーブルにて受振します。
- 測線数：3
- 総延長：約160km



【調査位置図】

	: 海上ボーリング調査位置 (2つのエリアで数本ずつ実施)
	: 海上音波探査測線

【調査工程】

調査項目	平成26年	
	4月	5月
海上ボーリング調査	[Green bar spanning April and May]	
海上音波探査		[Blue bar in May]